

## 2024年度事業報告

### 1. 研究広報事業

#### (1) 講演会の開催

沖縄県の地域振興に資する時宜を得た課題や、沖縄県の自然・歴史・文化に関する優れた研究を適宜取り上げる講演会を10月19日東京都内で開催し、その内容を「沖縄協会だより33号」（2024年12月発行）に収録して関係各方面の参考に供した。

演題：「沖縄の豊かな植物資源

～一般財団法人沖縄美ら島財団勤務47年を振り返って～」

講師：花城良廣 氏 前沖縄美ら島財団理事長

#### (2) 第46回沖縄研究奨励賞

沖縄の地域振興及び学術振興に貢献する新進の沖縄研究者の発掘をめざす第46回沖縄研究奨励賞は、選考委員会により最終選考された下記の3名を受賞者に決定し、賞状及び研究助成金を贈呈した。本事業は、7月15日から全国の報道機関、学協会、その他研究機関等の協力を得て推薦応募を開始。9月末日締切りまでに全国から11件の応募があった。1月22日那覇市内のパシフィックホテル沖縄で当協会、学術関係、沖縄県内各団体等の関係者約50人の出席、贈呈式・受賞記念講演・祝賀会を行った。なお、受賞者の受賞理由を「沖縄協会だより」第34号（2025年1月発行）に収録し、また、第35号（2025年2月発行）に受賞記念講演の内訳を収録して関係各方面に提供した。

##### ・自然科学部門受賞者

石井 貴広 氏（琉球大学農学部・教授）

研究題目：「琉球列島の海洋生物資源に着目した新規生物活性物質の探索研究」

##### ・人文科学部門受賞者

宮城 弘樹 氏（沖縄国際大学総合文化学部・教授）

研究題目：「琉球王国時代の考古学研究」

##### ・社会科学部門受賞者

吉川 麻衣子 氏（沖縄大学人文学部・教授）

研究題目：「沖縄戦を生きぬいた人びとの体験と想いの継承に関する研究」

#### (3) 資料室の管理

沖縄平和祈念堂管理事務所に設置した資料室に各方面から寄贈された沖縄関係資料を受け入れ、閲覧・貸出の対応を行った。東京事務所においての閲覧・貸出は、平和祈念堂から資料を取り寄せて対応した。

#### (4) 情報誌「沖縄協会だより」の発行

当協会の事業及び沖縄に関する諸般の理解を深めるため、「沖縄協会だより」第32

号～35号を発行し、内閣府、沖縄県、県内各市町村、沖縄関係団体等500カ所へ配布した。

(5) ホームページによる広報活動

当協会の事業を広報するため、インターネットを活用した沖縄協会ホームページの充実に努めた。

## 2. 沖縄関係団体等助成事業

沖縄県民の生活の向上及び沖縄県出身の青少年の健全育成に寄与し、沖縄における戦没者を慰霊するため、次の事業を行った。

(1) 沖縄女性の地位向上に寄与する研究及び活動に対する助成

沖縄女性の地位向上のため、社会的に意義ある研究及び活動を行う個人または団体に助成する事を目的とする「金城芳子基金」事業に対し7件の応募があった。同基金運営委員会で慎重審査の結果、「今年10月、第61回国連女性差別撤廃委員会（SEDAW）会場で沖縄のPFAS汚染問題を訴え問題解決へ向けた国際的ネットワーク形成を図る」（宜野湾ちゅら水会：代表 町田直美）を選定し、5月9日に助成金を贈呈した。

(2) 沖縄県の生活文化の発展に寄与する研究及び活動に対する助成

隔年実施のため2024年度は助成なし。

(3) 本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年への勉学支援

勉学支援金審査委員会により決定した本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年10人（新規7人，継続3人）に対し「働きながら学ぶ沖縄青少年支援基金」により勉学支援金を支給し勉学を奨励した。なお、制度発足以来の支援金受給者は延1,186人となった。また、本年度は記名基金へ2件（600,000円）の協力があり、基金総額は68,669,000円となった。

(4) 沖縄県豆記者交歓会の取材活動に対する協力

沖縄県豆記者交歓会が主催する豆記者団の取材活動に対して協力した。

(5) 「しづたまの碑」の管理料助成

沖縄戦における全滅家族を祀る「しづたまの碑」の管理料を「霞会館基金」の果実により（一財）沖縄県遺族連合会に助成した。

(6) 沖縄全戦没者追悼式の共催

6月23日の慰霊の日に沖縄県が主催した沖縄全戦没者追悼式を（一財）沖縄県遺族連合会及び（公財）沖縄県平和祈念財団とともに共催した。

## 3. 沖縄平和祈念堂事業

沖縄平和祈念堂を開館し、戦没者を追悼し平和を祈念する平和祈念堂の理念の普及に努めるとともに、堂宇及び付属施設の整備保全に努めた。

(1) 沖縄平和祈念堂の管理運営

- ① 参観者に平和祈念堂のパンフレットを配布するほか、沖縄平和祈念堂ホームページに施設の趣旨説明、施設の紹介、行事案内を掲載し、沖縄平和祈念堂の理念の普及と広報に努めた。
- ② 平和祈念行事の開催に際し、県内外のマスコミ各社の協力を得て行事の広報と理念の普及に努めた。
- ③ 大手旅行社等が企画する企画商品に参画し、参観者の誘客に努めた。
- ④ インターネットを活用して平和祈念堂のホームページで平和祈念堂の予約状況の周知及び団体参観者の予約受付を行い、事務の効率化を図った。

**【参観者数】**

総参観者数：37,612人（有料入館者数：33,376人）

大人 …………… 17,839人（47.4%）

中・高校生 …… 15,537人（41.3%）

小人 …………… 4,236人（11.3%）

参観者の来堂方法：一般来堂者 …… 17,294人（51.8%）

旅行業者の案内によるもの …… 16,082人（48.2%）

平和祈念堂各種行事の参加人数：第44回こどもまつり …………… 約350人

第9回ぬちぬぐすーじさびらコンサートin摩文仁

…………… 約250人

令和6年全戦没者追悼式前夜祭 …… 約250人

第47回摩文仁火と鐘のまつり …… 約480人

- ⑤ 専門業者に委託して建築設備・消防設備・浄化槽・貯水槽の法定点検及び電気設備の年次点検を行った。
  - ⑥ 消防設備の法定点検及び各設備の小破修繕を行った。
  - ⑦ 沖縄平和祈念像、絵画等重要展示物の管理保全を図るため、警備会社に委託して夜間の警備に努めるほか、平和祈念堂構内の賠償責任保険を付保した。
  - ⑧ 業者に委託して敷地内の清掃、樹木の手入れ及び緑化に努め、参観者に安らぎを与えるよう環境作りを推進した。
  - ⑨ 広く一般の利用に供するため、戦没者を追悼する上で特別な日である6月23日沖縄慰霊の日及び8月15日終戦記念日を無料開放した。
- (2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力
- ① 修学旅行等で沖縄平和祈念堂を訪れた児童生徒が実施する平和学習に対し、沖縄平和祈念堂の建設趣旨の説明や沖縄戦の記録映画の上映、会場提供等を行い、平和学習が円滑に運営されるように協力した。

- ② 修学旅行の下見に来た教師等に平和学習教材用DVD及び平和学習ハンドブックを贈し、平和学習の奨励に努めた。
- ③ 沖縄への修学旅行と平和祈念堂での平和学習を奨励するため、本土の小学校を中心とする教育関係機関を対象にホームページを通じて、平和学習教材用DVD「清ら島沖縄～摩文仁からのメッセージ～」と平和学習ハンドブック「清ら島 沖縄」改訂増補版の希望を募り、要望のあった学校等に配布した。
- (3) 各種団体が行う慰霊祭・演奏会・諸行事への会場提供及び協力  
各種団体が戦没者を追悼し、世界の恒久平和を祈念して実施した次の慰霊祭・演奏会・諸行事に対して会場を提供し、会場設営の協力やマイク等の備品の貸出しを行い、事業の円滑運営に協力した。

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| ① 念法真教総本山金剛寺慰霊祭(念法真教団) | 2024年10月19日 |
| ② 修養団捧誠会慰霊祭            | 2024年10月20日 |
| ③ 糸満平和祈念コンサート          | 2025年1月26日  |

(4) 慰霊・平和祈念行事の開催

① こどもまつり

5月5日に第44回こどもまつり「こども琉球芸能奉納」を開催した。まつりには、約350人が参加し、こども達による琉球舞踊、器楽合奏(太鼓演奏)、空手演武、沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻学生・卒業生・教員による琉球古典音楽の奉納献奏を行った。

② 第9回ぬちぬぐすーじさびらコンサートin摩文仁

(主催：レクイエムコンサート実行委員会 共催：沖縄県立芸術大学・当協会)

平和の礎に刻銘されたすべての方々への追悼と平和祈念堂・平和祈念公園から全世界に平和の祈りを発信するため、6月15日に約250人の聴衆と出演者が集い、沖縄県立芸術大学オーケストラ・沖縄レクイエム合唱団によるレクイエムコンサートを開催した。

③ 沖縄全戦没者追悼式前夜祭

6月22日に沖縄県、(一財)沖縄県遺族連合会及び(公財)沖縄県平和祈念財団の共催のもと、沖縄県が23日に行う令和6年沖縄全戦没者追悼式をより意義づけるため、その前夜祭を開催した(46回目)。式典は各県の遺族会代表及び県内各団体の代表、一般の方々をあわせて約250人が参列し、琉球古典音楽三流五派・琉球箏曲二派が一堂に会して琉球古典音楽を献奏した。上皇陛下が皇太子時代に詠まれたお歌(琉歌)を瓦屋節、故外間守善氏の琉歌を金武節、琉球古典音楽全流派代表者合作の琉歌を辺野喜節にのせて献奏し、一流舞踊家による琉舞が奉納された。また、前夜祭を厳粛な気持ちで迎えるため、平和祈念像のほこりを払う“浄め”を6月14日に行った。

④ 摩文仁・火と鐘のまつり

戦没者の霊を慰め、永遠の平和を祈念して、大晦日の夜から元旦にかけて第47回「摩文仁・火と鐘のまつり」を開催した。まつりは、沖縄県、糸満市、県内マスコミ等11団体の後援と一般財団法人沖縄県遺族連合会はじめ11団体の協賛・協力を得て約480人の県内外及び外国の人々が参加して実施した。また、まつりと新年を心あらたに迎えるため平和祈念像のほこりを払う“浄め”を12月11日に行った。

(5) 美術館の運営及び絵画の活用

美術館展示絵画テーマ「宇宙即私の希求」を基に絵画を年2回入れ替えて展示した。

[絵画の展示期間と展示作品数]

- ・2024年6月～11月 作品25点
- ・2024年12月～2025年5月 作品25点

(6) 行幸啓等要人応接

6月23日 岸田文雄内閣総理大臣

(7) 清ら蝶園の運営

命と平和のシンボルである蝶の飼育と放蝶を通して命と平和の尊さを参観者に伝えるために運営する清ら蝶園の食草及び蜜源の植栽を行い機能の充実に努めた。

(8) 修繕・整備

- ① 本堂水冷式空調機取替工事
- ② 本堂ロビー壁紙張替え工事
- ③ 地下機械室排水ポンプフット弁取替工事
- ④ 切符売り場の空調機取替工事
- ⑤ 事務所空調機の電機配線取替工事
- ⑥ 本堂玄関・東側出入口自動ドア取替工事
- ⑦ シロアリ点検管理業務
- ⑧ 自動火災報知器4器取替
- ⑨ 消火器25本取替

4. その他の事業

(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団南灯寮、東京沖縄県人会に対して各10,000円を助成した。

## 庶務の概要

### 1. 行政庁に対する提出及び届出並びに申請

2023年度事業報告書等及び2025年度事業計画書等の提出を行った。

### 2. 会議開催状況

理事会，評議員会及び勉学支援金審査委員会を次のとおりに開催した。

#### (1) 理事会

##### ① 2024年度第1回理事会（2024年5月23日）

付議事項 第1号議案 2023年度事業報告及び財務諸表報告について  
第2号議案 定時評議員会の開催について

##### ② 書面による理事会（2025年2月4日）

付議事項 議案 評議員会の開催について

##### ③ 2024年度第2回理事会（2025年3月14日）

付議事項 第1号議案 2024年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部  
取り崩しについて  
第2号議案 2025年度事業計画及び収支予算（案）等について

#### (2) 評議員会

##### ① 定時評議員会（2024年6月11日）

付議事項 第1号議案 2023年度事業報告及び財務諸表報告について  
第2号議案 任期满了による理事7人及び監事2人の再任について

##### ② 2024年度第2回評議員会（2025年3月14日）

付議事項 第1号議案 2024年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部  
取り崩しについて  
第2号議案 2025年度事業計画及び収支予算（案）等について

#### (3) 勉学支援金審査委員会（2024年7月23日）

審査事項 2024年度勉学支援生について

## 事業報告の附属明細

### 1. 研究広報事業

#### (2) 第46回沖縄研究奨励賞

##### 選考過程と日程

月日	選考過程
2024年	
6月20日	推薦応募の依頼・報道依頼 全国の学会、大学、研究機関等（約300件）に対して推薦応募依頼を、報道機関（約40件）に対して報道依頼を行った。
7月15日	推薦応募受付開始
9月30日	推薦応募締切 全国7都府県から11件の推薦応募が寄せられた。
10月8日	書類選考（＝第1次選考）開始
11月6日	選考委員会開催（部門別選考・全体選考実施） 部門別選考（＝第2次選考） 自然科学部門、人文科学部門、社会科学部門に分かれて選考を行った。 全体選考（＝最終選考） 部門別選考に残った候補者について全選考委員で選考を重ねた結果、自然科学部門の石井貴広氏、人文科学部門の宮城弘樹氏、社会科学部門の吉川麻衣子氏の3件を受賞者に決定した。
12月5日	マスコミ発表
2025年	
1月22日	本賞及び副賞を受賞者に贈呈

## 1. 研究広報事業

(4)情報誌『沖縄協会だより』の発行

『沖縄協会だより』発行内容一覧

号数・発行月	主な内容
第32号 2024年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「尖閣遭難事件と決死隊」 今井恒子 氏</li> <li>・トピックス</li> <li>・沖縄協会主催・共催行事</li> <li>・応募案内 沖縄研究奨励賞</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館所蔵絵画紹介:工藤和男作「沖縄の漁場」〈制作意図〉</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館 沖縄を描く7 「磯の夕暮」大和修治作</li> </ul>
第33号 2024年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄協会主催講演会 「沖縄の豊かな植物資源」花城良廣氏 前沖縄美ら島財団理事長</li> <li>・トピックス</li> <li>・沖縄協会主催・共催行事</li> <li>・第59次沖縄豆記者交歓会事業への協力</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館所蔵絵画紹介:小阪正次作「壺屋の里」〈制作意図〉</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館 沖縄を描く8 「ピナイサーラの滝」立川広己作</li> </ul>
第34号 2025年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第46回沖縄研究奨励賞受賞者決定 琉球列島の海洋生物資源に着目した新規生物活性物質の探索研究:石井貴広氏, 琉球王国時代の考古学研究:宮城弘樹氏, 沖縄線を生き抜いた人びとの体験と想いの継承に関する研究:吉川麻衣子氏</li> <li>・トピックス</li> <li>・沖縄協会関係事業他募集案内</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館所蔵絵画紹介:鎮西直秀作「守禮の月」〈制作意図〉</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館 沖縄を描く9 西村計雄作「花風」</li> </ul>
第35号 2025年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第46回沖縄研究奨励賞・受賞者記念講演 琉球列島の海洋生物資源に着目した新規生物活性物質の探索研究:石井貴広氏, 琉球王国時代の考古学研究～古墓調査の例を中心に～:宮城弘樹氏, 沖縄線を生き抜いた人びとの体験と想いの継承～戦後80年のいま, 渡されたバトンとは～:吉川麻衣子氏</li> <li>・トピックス</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館所蔵絵画紹介:辛島一誓作「天馬飛翔」</li> <li>・沖縄平和祈念堂美術館 沖縄を描く10 斉藤政一作「辺戸岬三月」</li> </ul>

## 2. 沖縄平和祈念堂事業

(2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力

②, ③ 平和学習 DVD, ハンドブックの寄贈及び配布

・平和学習 DVD 「さとうきびの詩 清ら島 沖縄～摩文仁からのメッセージ」

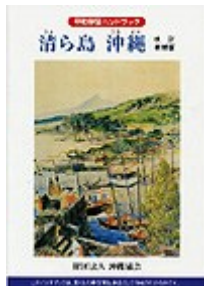


### 【DVD の内容】

「プロローグ～摩文仁から悲しみの詩が聞こえる～」

1. 「沖縄の歴史と文化～琉球王国と伝統文化～」
  2. 「沖縄戦の悲劇～住民を巻き込んだ地上戦～」
  3. 「沖縄の今～米軍基地問題と再開発～」
  4. 「摩文仁からのメッセージ～平和を願う沖縄のこころ～」
- 「エピローグ～沖縄慰霊の日・平和の使者、摩文仁の空へ～」  
付録データ [平和学習ハンドブック改定増補版の一部]

・平和学習ハンドブック 「清ら島 沖縄」



### 【ハンドブックの構成】

#### 主題編

1. 沖縄の概要アジアから見た沖縄
2. 歴史のあらまし
3. 沖縄戦
4. アメリカ統治時代
5. 復帰後の沖縄
6. 平和への願い

#### 補足編

1. 沖縄の自然
2. 伝統文化
3. 島々の姿等